

地域包括支援センターだより



医療・介護の連携システム「ときネット」に登録を

在宅で医療や介護サービスを利用するとき、支援する関係者の情報共有が欠かせません。そこで村上地域では、医療・介護連携システム「ときネット」と呼ばれる、情報共有ネットワークをつくりました。

「ときネット」は、医療機関（病院・医院・歯科診療所・調剤薬局）や介護サービス事業所、介護保険施設、行政などが参加し、在宅介護サービスを利用している人を支援する関係者でチームを組み、情報共有を図るものです。

例えば、主治医が内服薬を変更したとき、その指示を受けた訪問看護師がケアマネジャーに伝え、ケアマネジャーがデイサービスやショートステイの事業所に個別に連絡していたところを、「ときネット」に登録していれば、一斉に関係者全員に伝えることができ、効率の良い連携が図れるようになります。

現在、「ときネット」には75の施設と89人の介護サービス利用者が登録されています。特に複数のサービス（デイサービスとショートステイ、訪問看護や往診など）を利用されている人には登録をお勧めします。



●問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター ☎53-2111（内線3432）
または各支所地域振興課地域福祉室



▲地域の茶の間で講演会

昨年4月から地域おこし協力隊として、猿沢にある「朝日シルクフラワー製作工房」を拠点に活動を行なっています。

生まれも育ちも東京の私ですが、朝日地区とは10年ほど前からNPOの活動の関係でご縁がありました。温かい方々に支えられながら、居心地の良い地域で、大好きなモノ作りに没頭できる日々から幸せを感じています。



もとこ 細井幹子 隊員
(檜原集落担当)

まゆの花が長く愛されるように

昨年度は、東京で行われたハンドメイドイベントへの出展や、まゆの花で行うフラワーアレンジメント講座、さらにはSNSを通じて情報発信など、さまざまな企画を実現させていただきました。色々な事にチャレンジする機会をいただけたのも、地域の皆様のご協力があったからこそだと感じています。

今年度は、まゆの花を製作する講座を積極的に開催し、これからもまゆの花が長く愛される特産となるよう活動していきます。



▲外国人ツアーのお客様とコサージュ作り体験

シリーズ

新しい国産産物の魅力

地域おこし協力隊通信

13

●問い合わせ 自治振興課自治振興室
☎53・2111（内線3310）